

2025年度学校評価 自己評価及び学校関係者評価

平素より、皆さまには幼稚園の教育活動に対して、ご理解とご協力いただき心より感謝申し上げます。
昨年度より本園は認定こども園へと変わりました。皆さまには、色々ご負担をおかけしたかと思いますが、おかげさまで、2025年度も無事に終えようとしています。

さて、12月に実施しましたアンケートでは、保護者の皆さまから大変良い評価を受けることができ、恐縮しながらも嬉しく感じておりました。これに慢心することなく、ますます、子ども達の成長のために励み、よりよい教育・保育を実現していきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

本題となりますが、学校教育法に基づき2025年度学校評価（自己評価及び学校関係者評価）を実施いたしましたので、ここに公表いたします。この評価は、日々の保育や園生活を見つめ直し、「できていること」「大切にしていきたいこと」「これから工夫していきたいこと」を整理し、今後の園づくりに生かしていくものです。

子どもたちの育ちを中心に据えながら、安心して園生活を送っていただける環境づくりに努めてまいります。ここに、2025年度学校評価の内容をお知らせいたします。

本園の教育目標

キリスト教が示す神の愛と、神から与えられた命の尊さを知り、感謝し共に生きる喜びを味わい、愛と自由と希望に生きる主体的で豊かな人間性を養うことを目指す。

＜理想とする子ども像＞

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1. 「光の子ども」 | 光の持つ優しさ、強さ、ゆたかさ、輝きをもつ子ども |
| 2. 「人を愛する子ども」 | 自分と同じように人を愛する子ども |
| 3. 「自分でできる子ども」 | 自分のことは自分でやり、最後まで頑張る子ども |

1. 25年度重点的に取り組むことが必要な評価項目

1. 保育環境・保育内容の見直しと充実

子ども達の年齢や成長に応じた環境づくりを大切にしながら、玩具や遊具、園内環境を見直し、安心して学べる環境づくりを進めていきます。

わらべうた、リズム遊び、運動遊びなど、日々の保育を大切にしながら、子どもたちの「やってみよう」「楽しい」「できた」という気持ちを育む保育を進めていきます。また、必要に応じて外部講師による活動も取り入れ、さまざまな体験の機会を大切にしていきます。

2. 教職員の学びとチーム保育の充実

職員一人ひとりが学び続ける姿勢を大切にしながら、園全体で子どもたちの育ちを支えるチーム保育を進めていきます。各種研修会への参加を通して、幼児教育・キリスト教保育の専門的な知識を身につけます。職員同士の連携を深め、安心して園生活を支えられる体制づくりを目指します。

3. 幼稚園と保護者間の事務的やり取りの負担軽減

保育業務支援ツールの導入やICTの活用、業務の見直しを行い、幼稚園事務員や保護者の皆さまの事務的なやり取りの負担軽減を進めていきます。また今年度より諸経費の口座引き落としを導入し、保護者の皆さまの手続きの負担軽減や利便性の向上にも取り組みます。

4. 行事内容の見直しと地域連携による教育活動の充実

子ども達の発達や生活リズムに配慮した行事内容の見直しを行い、家庭への負担軽減と、親子で安心して参加できる行事づくりを進めるとともに、地域とのつながりを大切にした教育活動を通して、子どもたちの豊かな体験の機会を広げます。

2. 学校評価の具体的な目標や取り組み方

項目	内 容
1	子ども達が安全で安心して過ごせる園環境づくりを進めるため、園内施設・設備の点検および必要な修繕・整備を計画的に行います。わらべうた・音遊び・運動遊びを日々の保育の中に大切に位置づけ、子ども達が身体を動かす楽しさや心地よさを感じながら成長できる保育環境の充実を図ります。
2	教職員が共通理解のもとで連携し、園全体で子ども達の育ちを支えるチーム保育体制の充実を図ります。また、園内研修として、わらべうたの研修を行います。教職員は各種研修会（幼児教育・キリスト教保育に関する研修・オンライン研修など）に積極的に参加し、専門性の向上に努めます。
3	保育業務支援ツール「パピーナ」の活用を進め、緊急時等の連絡を速やかに行います。保護者の方がアプリ内で、欠席・遅刻などの連絡、また時間外保育の予約をできるようにします。また、諸経費の口座引き落としの制度の運用を始め、事務的負担軽減と利便性の向上に取り組みます。
4	今年度より、バス遠足を町内の運動公園における親子レクへと変更し、各ご家庭の負担の軽減を図るとともに、子ども達が無理なく参加でき、親子で共に楽しめる内容を大切にした行事構成へと見直します。また、地域開放事業については、外部講師や地域の方々をお招きし、地域のつながりを大切にした教育活動を推進します。

3. 重点項目の評価

[●・・・実施した具体的な内容 / ◎・・・●に対する自己評価]

1	<p>● 施設の修繕を以下のように実施しました。 門扉の修理、玄関外階段のコンクリート修繕、幼稚園畑周囲の柵の修繕（破損部分の補修およびペンキ塗装）、園庭遊具（滑り台）の錆補修を実施しました。</p> <p>◎ 園内の危険箇所や老朽化部分について、計画的な修繕を行うことができ、安全性の向上と環境整備の充実につながりました。子ども達が安心して園生活を送るための基盤となる環境づくりが進んだ一方、今後も継続的な点検と計画的な整備の必要性が確認されました。引き続き、施設・設備の安全管理を重視し、予防的視点をもった環境整備を継続していきます。また、創立100周年記念事業として、幼稚園の隣の土地を購入し、プレイグラウンドを建設中です。（2026年度6月頃完成予定）</p> <p>● 6月には、わらべうた講師として「どんどんばし」代表・布施早苗氏を講師に招き、各クラスの年齢や発達段階に応じたわらべうた遊びを子ども達と共に楽しみ、実践しました。 音遊びにおいては、音楽療法士・フルート奏者の河野那々瀬氏を講師として、月一回、全クラスを対象とした音楽遊びを実施しました。リトミック、シフォン布、バラバルーン、打楽器などの教材を用い、楽しみながら身体を動かし、音楽に親しむ活動を通して、感性や表現力、身体機能の育成を図りました。 また、今年度新採用の大田羽空飛教諭による運動遊びを週一回実施し、怪我をしにくい身体の使い方や運動などを取り入れた活動を行いました。年齢や発達段階に応じた運動内容を通して、身体を動かす楽しさを感じながら、基礎体力の向上と運動能力の育成を図りました。</p> <p>◎ 専門講師による継続的な実践を通して、わらべうた・音楽遊び・運動遊びが日常の保育に定着し、子ども達が楽しみながら心身を育む環境づくりが進みました。身体を動かす楽しさや心地よさを感じる経験を重ねることで、運動への意欲や表現力の向上が見られ、年齢や発達段階に応じた育ちを支える保育実践につながりました。今後も継続的な取り組みを通して、心と体の健やかな成長を支える保育内容の充実を図っていきます。</p>
2	<p>● 2025年度 研修会報告</p> <p>4/5 「主体的な子どもの育成をめざして～サークルタイムはじめました～」(オンデマンド) 講師：大阪教育大学講師 安達 譲氏 参加者：磯部</p> <p>5/26 保育士等キャリアアップ研修「マネジメント」(オンデマンド) 参加者：井家</p> <p>6/16 認定こども園岩内幼稚園園内研修①「わらべうた講習会」 講師：どんどんばし代表 布施 早苗氏 参加者：高橋・大場・手塚・磯部・井家・大田</p> <p>6/18 保育士等キャリアアップ研修「障害児保育」(オンデマンド) 参加者：磯部</p> <p>6/30 保育士等キャリアアップ研修「幼児教育」(オンデマンド) 参加者：永山</p>

	保育士等キャリアアップ研修「乳児保育」(オンデマンド)	参加者:平野
	保育士等キャリアアップ研修 「保護者支援・子育て支援」(オンデマンド)	参加者:七海
7/5	キリスト教保育連盟 北海道部会講習会「平和を作り出す子を育むために」(オンデマンド) 講師:国境なき医師団会長 中嶋 優子医師	参加者:高橋・大場・手塚・磯部・井家・大田
7/6	幼稚園における熱中症予防～知って防ごう熱中症～(オンデマンド) 講師:滋賀県立大学名誉教授 寄本 明氏	参加者:磯部
8/8	キリスト教保育連盟後志地区研修会 夏期研修「子どもの育ちに生きる遊びの伝承」 講師:札幌第一こどものとも社代表 藤田 進氏	参加者:葛井・高橋・大場・手塚・磯部・井家・大田
9/1	保育士等キャリアアップ研修「障害児保育」(オンデマンド)	参加者:井家
10/8	認定こども園岩内幼稚園園内研修②「わらべうた講習会」 講師:どんどんばし代表 布施 早苗氏	参加者:高橋・大場・手塚・磯部・井家・大田
11/28	岩内保健所感染症対策研修会「呼吸器感染症の基礎知識と感染予防及びまん延防止対策」 講師:北海道後志総合振興局保健環境部 岩内地域保健室健康推進課	
12/17	保育士等キャリアアップ研修「幼児教育」(オンデマンド)	参加者:井家
12/24	「幼児期の育ちをつなぐ架け橋期のカリキュラム開発に向けて」(オンデマンド) 講師:関西国際大学教育学部教育福祉学科准教授 椋田 善之氏	参加者:磯部
1/6	キリスト教保育連盟北海道部会 幼児教育セミナー 「子どもと大人の人権が守られる保育について」 講師:藤女子大学教授 吾田 富士子氏	参加者:葛井・高橋・大場・手塚・磯部・井家・大田
1/9	キリスト教保育連盟後志地区研修会 冬期研修「わらべうた研修」 講師:絵本とおもちゃの専門店「ろばのこ」創業者 親子わらべうたの会「どんどんばし」代表 布施 早苗氏	参加者:高橋・大場・手塚・磯部・井家・大田
	※北海道キリスト教学園主催「新任保育者研修(年4回実施)」修了	参加者:大田
	<p>◎ 2025年度も教職員一同、現地参加、ZOOM、オンデマンド等を利用して学びの時を持ちました。幼稚園教諭としてのスキルアップを目指して、新しい時代の幼児教育の現状と課題を理解し、実技等の習得に努めます。来年度は、こどものとも社主催のオンデマンド研修を活用し、全職員が多様な分野について学びを深めることができる研修環境を整える予定です。職員一人ひとりの専門性と視野を広げるとともに、園全体として、保育の質の向上につなげていきます。</p>	

<p>3</p>	<p>● 幼稚園と保護者間の事務的やり取りの負担軽減のため、以下のことを実施しました。</p> <p>☆ 保育業務支援ツール「パピーナ」の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パピーナアプリ「メッセージ」「アンケート」「おたより」機能による保護者への連絡 ・ パピーナアプリでの欠席・遅刻連絡と時間外保育の予約 ・ 登降園時間の打刻記録に基づいた利用料の自動算出 ・ 北洋銀行口座引き落とし制度の運用開始 <p>◎ 24 度に北海道より ICT 導入補助金をいただき、教職員にパソコンの支給や園舎全館 Wi-Fi 完備などのネットワーク環境の整備をしました。さらに、保育業務支援ツール「パピーナ」の活用により、職員の事務作業負担が軽減され、保育に集中できる環境づくりが進みました。情報伝達の効率化により、連絡ミスや伝達漏れの防止にもつながり、園運営全体の業務改善として一定の成果が見られました。また、保護者の皆さまにとっても、園からのお知らせや連絡事項をご家庭の生活リズムに合わせて無理なく確認していただける環境が整いました。今後も、保護者の方にとって使いやすく、分かりやすい連絡体制を大切にしながら、安心してお子様を預けていただける園づくりを進めていきます。</p>
<p>4</p>	<p>● 年々高騰する貸し切りバス料金により各家庭への経済的負担が増加していることを踏まえ、今年度よりバス遠足を町内運動公園での親子レクリエーションへと見直し、現地集合・現地解散の形式に変更しました。当日は、シールラリー、フォークダンス、フープ競争、お弁当の時間など、親子で触れ合いながら無理なく楽しめる内容を実施し、子どもたちの発達や生活リズムに配慮した行事構成としました。</p> <p>地域開放事業としては、月に一度の地域開放日において、以下の内容を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月「自由遊び」 ・ 5月「つくってあそぼう」（手作り工作、花屋「すずなり」によるワークショップ） ・ 6月「音楽と触れ合おう」（岩内高校吹奏楽局による演奏） ・ 7月「えんにち」（ジャグリング kuro によるショー、縁日） ・ 8月「水・泥あそび」 ・ 10月「人形劇フェスティバル」（ももたろうプロジェクトによる人形劇、ワークショップ） ・ 11月「クリスマスキャンドル作り」 <p>多様な内容の活動を通して、子ども達が地域の方々と触れ合いながら、豊かな体験を重ねる機会を設けました。</p> <p>◎ 行事内容の見直しにより、家庭への経済的負担軽減とともに、子ども達の発達や生活リズムに配慮した無理のない行事運営が実現し、親子で安心して参加できる行事づくりにつながりました。また、地域開放事業においては、外部講師や地域団体との連携を通して、多様な体験活動の場を創出することができ、園が地域と共に子どもを育てる場としての役割を果たす教育環境づくりが進みました。来年度以降も、家庭への配慮と教育的意義の両立を大切にしながら、行事内容の在り方を継続的に見直し、地域と連携した教育活動の充実を図っていきます。</p>